



# 福井県

## 中学校長会の窓

発行 福井県中学校長会  
編集 福井県中学校長会広報部  
印刷 宮田 写植 印刷  
福井市春日1丁目7-4  
TEL (0776)35-3865

第 139 号

令和2年2月10日発行

令和元年度

### 福井県中学校長会研修会

令和元年11月14日(木) 県自治会館

#### 会長挨拶



福井県中学校長会

会長 北川 裕之

校長先生方、こんにちは。

今年の夏は猛暑であり、秋になっても比較的温かい日が続いていましたが、立冬も過ぎ、徐々に気温が下がってきました。これからはインフルエンザなどが流行しやすい、一層、健康管理が大切な季節になっていきますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

本日、令和元年度県中学校長会研修会を開催するにあたり、公務ご多用の中、教育長

豊北欽一様、義務教育課長山本晃市様のご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。後ほどご挨拶、ご指導をよろしくお願いいたします。

さて、学校教育でもっとも大切なことは授業であり、どの中学校も新学習指導要領の実施に向けて、授業力向上に取り組んでいたと思います。

また、いじめ、不登校への対応、保護者のクレーム対応、地域へ出向いての連携、職員の心身の健康管理、さらには、神戸市東須磨小学校事件から自校でそうした教員間のトラブルは起こっていないかを自己点検されるなど、日々、校長業務でお忙しいことと思います。

さらに、今年度は、学校の働き方改革に積極的に取り組んでいただいていることに感謝いたします。

八月二十三日に立ち上げられた特別委員会「働き方改革推進委員会」では、副会長の林晃司校長先生(春江中)をはじめ八名の校長先生に委員を委嘱させていただきました。活動していただいているところです。

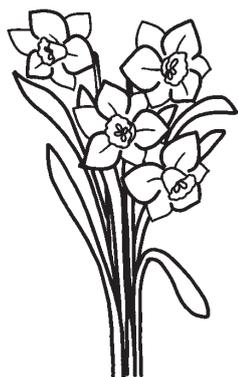
働き方改革推進委員会では、学校の実情把握と意見の集約をするためのアンケートを実施し、集計結果は、昨日全中学校に配信

されました。働き方改革推進委員会からは、集計結果をもとにいろいろな提案をしていただくこととなります。

また、それぞれの中学校において、他校の状況を参考にして、自ら取り組めることは取り組んでいただくことが、働き方改革を進める上で大切だと思っておりますので、よろしく申し上げます。

この後、文部科学省の児童生徒課長の大濱健志様に「学校の危機管理について」ご講演いただきましたことになっております。大濱課長様には、五月の全日中学校長会総会の行政説明の際に、短時間で危機管理に関してお話がありました。非常にわかりやすく、また、具体的にお話しされたため、より詳しい話を全中学校の校長先生にお聞きいただきたく思いましたところ、全国から多数の講演要請がある中で、福井県に来ていただけることになりました。

本日の研修会が先生方一人一人にとつて、実り多い研修会になりますことを願ひまして、開会の挨拶とさせていただきます。本日は、よろしく申し上げます。





福岡県教育委員会

教育長 豊北 欽一氏

本日は、県内七十六校の校長が一  
同に会し「令和元年度福岡県中学校  
長研修会」が盛大に開催されますこ  
とをお慶び申し上げます。また、皆様  
方には、日頃から本県の教育方向上  
のため、ご尽力されていることに敬  
意を表するとともに、感謝申し上げ  
ます。

本日は、県の教育長としてお伝え  
したいことをお話しします。

最初に、私の中学校時代をお話し  
ます。福岡市の明倫中学校を卒業し  
ました。部活では柔道をしていて、第  
四回全国中学校大会に、県代表とし  
て団体戦で出場しました。監督は皆  
様の中にご存知の方もいるかもしれ  
ませんが、小柄な帰度先生という社  
会科や英語の先生でした。生徒会で  
文化委員長を任せられ、校舎の鉄筋化  
の時でしたので、文化祭の時は空い  
ていた木造校舎にお化け屋敷を作り  
ました。また校庭にステージを設け、

かくし芸大会を行ったのですが、一  
番手に誰も手をあげないので、小学  
校のクラス会でやった落語の独演会  
を行いました。

高校に入れば、いやがおうにも進  
学や就職に向かって自ら頑張らなけ  
ればならないし、どこまで学校がサ  
ポートできるかですが、小中学校は、  
学力をつけさせることは大事だけ  
ど、仲間ができて通うのが楽しく、思  
い出に残るような学校づくりをぜひ  
お願いしたい。

私は、県の部長と学校の校長はよ  
く似ていると思っています。それは、  
県庁生活や教員生活の仕上げのス  
テージだからです。私は、部長職であ  
る議事事務局長、新幹線政策監、総合  
政策部長として六年間、部の職員と  
ベクトルを同じにしながら仕事をし  
ました。特に、新幹線政策監の時は、  
石川県境から敦賀までの用地買収の  
陣頭指揮をとり、事務所職員と毎日  
のように作戦会議を行い、夜遅くま  
で公民館等で交渉し、私自ら交渉に  
行ったりしました。精神的につらい  
交渉に立っている職員と苦労をとも  
にしました。

さて、皆さんは、「NHKのチコ  
ちゃんに叱られる」という番組をご  
覧になったことがありますか。そこ  
で、皆さんに問います。「いい授業と  
は?」「いい先生とは?」「いいクラス  
とは?」「いい学校とは?」「いい校長  
とは?」

「チコちゃんは知っています!」  
「いい授業とは、  
・子どもが「わかった!」「できた!」  
という達成感が得られる授業  
・子どもが「学ぶ内容が面白い」「学  
ぶ活動が面白い」と感じたり、「学  
んだことが活かせる喜び」を味  
わったりする授業

・子どもたちの実態を把握すると  
もに、一人一人の考えや意見を尊  
重し、主体的・対話的で深い学び  
を意識したわかりやすい授業  
「いい先生」とは、

・子どもたちの自主性や個性を尊重  
し、一人一人の存在価値を認めな  
がら学習指導や生徒指導を行って  
いる先生  
・子どもの話や意見をきちんと聞く  
先生  
・優しく、明るく、子どものことを一  
番に考える先生  
・見た目で判断しない先生  
「いいクラス」とは、

・子どもたちが級友を一人一人大切  
にするクラス  
・困っている級友を助け合うクラス  
「いい学校」とは、  
・勉強や運動など自分が得意とする  
分野で活躍できる、通うのが楽し  
い学校  
・保護者や地域住民の意見や要望を  
的確に反映させ、連携協力してい  
ける安全・安心な学校  
「いい校長」とは、

・教職員や家庭、地域から信頼され、  
子どもたちが通うのが楽しい学校  
づくりができる校長  
・行動力と判断力、実行力、責任感が  
あり、誠実な人格を兼ね備えた校  
長

ここに集まりの校長先生方は、  
答えに若干違いはあれ、知っていま  
す。それは、長年、生徒指導や学級づ  
くり、保護者や地域対応等に苦勞し、  
努力してきたからであり、その追求  
こそ「教育の神髄」であり「教育の美  
学」だからです。教員生活の仕上げと  
思っています。校長先生にお願いしたい  
今日は、校長先生にお願いしたい  
ことを三点申し上げます。

第一点は、教職員、家庭、地域から  
信頼され、子どもたちが通うのが楽  
しい学校づくり、子どもと向き合い、  
個性を引き出して伸ばす教育を行  
い、教員がやりがいを持って学校づ  
くりをお願いします。先月、「教育に  
関する大綱を決定し、ふくいの教育  
文化のよいところは次世代へ継承し  
つつ、教員が教え込むのではなく、子  
ども自身の個性に気づかせ、それを  
伸ばしていくような「引き出す教育」  
や、好奇心や探究心を持って学びを  
自ら進んで「楽しむ教育」を地域や家  
庭などと幅広い連携・協働のもとで  
推進していくことを盛り込んでいま  
す。授業名人の授業は、生徒の関心を  
引き付けますが、数学や理科が好き  
になれば高校で理系に行きます。生  
徒には、授業名人の授業が受けられ  
ない不公平だけでなく、生徒の進路  
にまで影響があります。教員一人一  
人の授業研鑽、学校内での互見授業  
をしつかり進めていただき、授業名  
人を増やすことが必要です。

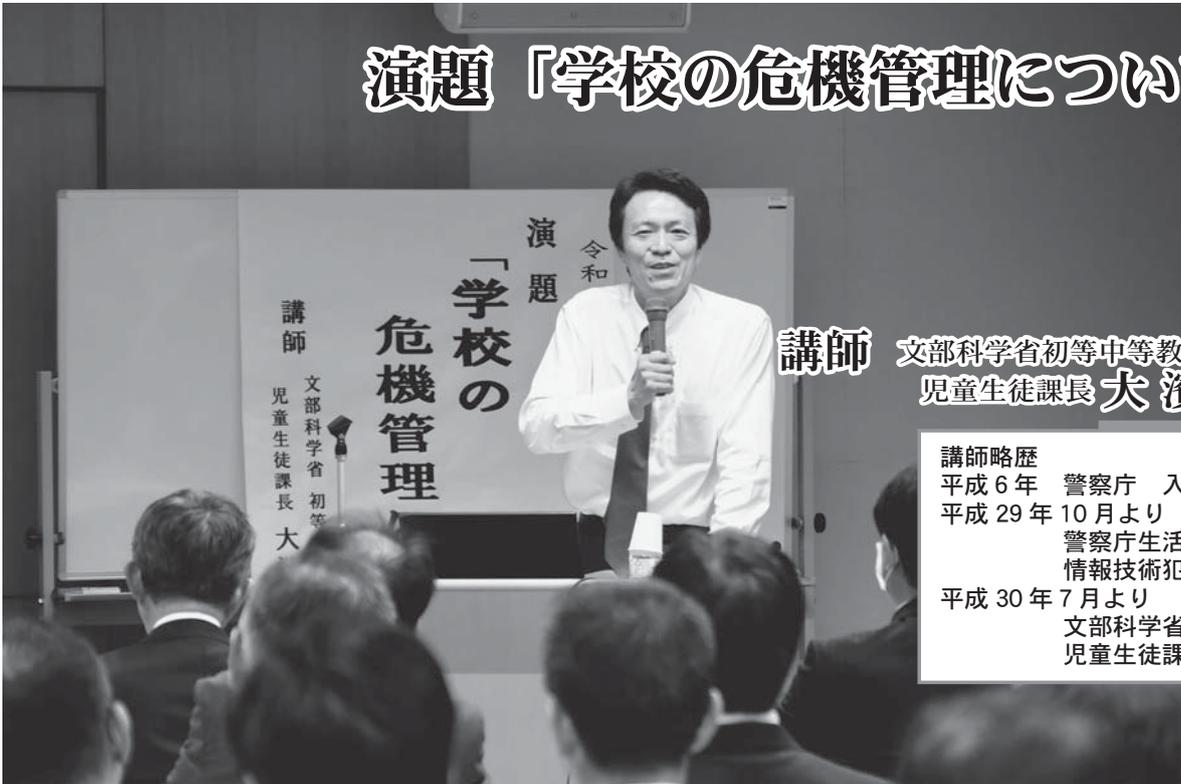
二点目は、教員の働き方改革をお  
願います。  
各学校の取組みによって、月八十  
時間超の超過勤務者数は減ってはき  
ておりますが、中学校は取組みが遅  
れています。近年、教員志望者が減っ  
ていることが報道されています。前  
例にとらわれることなく、できるこ  
とから業務改善を進める、あるいは、  
状況に応じて校務分掌を適宜見直し  
ていただくなど、先生方が心身とも  
にゆとりをもって子どもと向き合え  
る環境づくりを進めていただきたい  
。いろいろな先生に聞くと、「教員  
自らの意識改革や勤務時間の自己管  
理が必要なことがわかっていてるけ  
ど、生徒に関われば関わるほど効果  
も感じ取れて、変われない」と言いま

す。試行錯誤の面はあるかもしれな  
いが、ぜひ、校長がリーダーシップを  
発揮して学校全体で取り組んでくだ  
さい。  
三点目は、風通しの良い職場づく  
りと生徒に熱い学校づくりをお願い  
します。学校は常に問題が起こりか  
ねないのが当たり前ですが、問題が  
生じたら、担任の先生一人で抱え込  
まず、校長、教頭をはじめ学年主任や  
生徒指導の教員等、関係者が情報を  
共有して、初期段階から迅速に対応  
してください。この重大さや対応  
の難しさによっては、市教委にあげ、  
弁護士等の力を借りることも必要で  
す。通常学級には、インクルーシブ教  
育で気がかりな子どもが増えていま  
すが、校長からみて、職員室に気がか  
りな教員が増えていませんか。新人  
の教員が心の病で、戦列を離れてい  
くことが見られます。教員一人一人  
への目配せと、特に新人教員には、教  
科の先輩教員やシニアティーチャー  
をつけ、フォロワー体制をぜひ考え  
てみてください。校長は、集会等で講話  
や挨拶をすることもありますが、魂を込め、生徒の心につきささる  
具体的なわかりやすい素晴らしい話  
をしてください。また、生徒会で決め  
させた歌を、卒業式まで集会のたび  
に唄うのも、学校の一体感を持つこ  
とができ、生徒の思い出になると思  
います。

本日の研修会が実り多いものと  
なりますこと、併せて、皆様のますます  
のご活躍とご健勝を祈念し、挨拶と  
いたします。



# 演題 「学校の危機管理について」



講師 文部科学省初等中等教育局  
児童生徒課長 大濱 健志 氏

講師略歴  
 平成 6年 警察庁 入庁  
 平成 29年 10月より  
 警察庁生活安全局  
 情報技術犯罪対策課長  
 平成 30年 7月より  
 文部科学省初等中等教育局  
 児童生徒課長

## I いじめ問題について

(1) いじめの定義

(2) 組織としての対応

- ① 先生が一人で抱え込む理
- 由
- i 真面目型、熱心型
- ii マイナス評価を気にする型
- iii 見て見ぬふりをする型

(2) 組織的対応の中身

- i 情報共有
- ii 最悪に備えて迅速に動く
- iii 正確な記録化

(3) 組織的対応のメリット

- i 目の前の児童生徒を救うことができる。
- ii 責任論

(3) 個別対応について

- ① いじめられている側に対して
- ② いじている側に対して
- ③ 第三者に対して

## II 報道対応について

(1) 報道対応の基本

## III 保護者対応について

- (1) 学校に非がある場合
- ① 謝罪
- ② 誠実な対応

(2) 学校に非がない場合

- ① 毅然とした対応
- ② 最大限の配慮

(3) 様々な要求などへの対応

(4) 先生をつぶさない

(5) 異校種間の情報共有

## 質疑応答

- ・ 残虐なゲームの影響やSNS上の問題行動における生徒指導について
- ・ 教職員の不祥事の場合と、それを抑止する効果的な指導について
- ・ 周りの教員とトラブルを起こしやすい教員への対応について
- ・ 投稿動画の影響について
- ・ 学校事故や防災に関する高度な知識が求められていることについて



## 校長三昧



### 校長だからできること

光陽中学校長 大久保昌倫



校長は判断をし、責任をとるということが大事な役割。その場面はもちろんありましたが、「校長だからできること」として私が一番エネルギーを注いだことは、地域と学校との架け橋となることでした。

生徒のことは担任・部活顧問・指導部長・学年主任が主役。職員室の先生方の担任は教頭先生。そう考えると、校長が最前線で積極的に関わることができるとは限られてきます。

地域との関係づくりは勤務時間外となることもあり、大変かもしれません。しかし「わざわざ休みなのに来てくれてありがとう。」とその場にいるだけで、地域の方々は喜んでくれます。

地域を学校の応援団になってもらう。そのことが日々全力で働く自校の先生方の後方支援と

なつたことがありました。地域と学校の架け橋はまだ幅の狭い、人が行き来するには不安定な吊り橋みたいなものです。後任の方に中途半端なまま仕事を残したのが心残りです。

### 校長ライフをエンジョイ

明道中学校長 北川裕之



校長となつて最後の五年目が始まった時に、ある外部の方と話した帰り際のことだった。見送る際、その方は、「先生は変わつていまずね。これまでたくさん校長先生にお会いしましたが、普通の校長先生は、最後の年になると無事平和に終わりたい、早く退職して楽になりたいと話されます。校長職が楽しいとおっしゃる方に出会つたのは、某先生と先生の二人だけです。」と話された。

確かに、定年退職を迎えた翌日四月一日に校長の重責から解放されたときの安堵感については、たくさんさんの退職校長先生から伺っていました。ただ、私の校長としての重責も含め、学校の最高責任者としていろいろ考え、よりよい学校にするために努力することが心地良いのです。困難なことで胃が痛くなる思いをしても、努力して乗り越えた時の安堵感、爽快感がそうしたことを忘れさせ、楽しさだけが残るのです。

考え方一つで、生き方が変わります。児童生徒、教職員のためには校長がやれることはいくらでもあります。退職して去つて行く私からは、校長をされていく皆さんに、フレイフレイとエールを送るのみ。頑張つて力を尽くし、そして校長職を楽しんでください。

### I(愛)は、あるんか

進明中学校長 柴田 顕光



先日ある書類を書いていて、職業欄のところまで手が止まった。これまで公務員とか教員と書いてきたが、四月からは？免許を持たない校長は？改めて、ネットで職業調べをしてみた。「中学校教員：深い専門知識が必要。中学時代は不安定になる生徒も多いので、適切な指導を。人間としての幅広い教養や対応力。求められる資質として、中学校教育全体への理解、指導教科などの専門的な知識や技能、生徒に対する愛情や指導への熱意が重要。カウンセリングに関する知識や技能も望まれる傾向。云々。」果たして私は中学校教員だったのか。反省しきり。

近年資質・能力の文字が自ずと目に入る。当然のように、目的、目標を確認することが増えた。そのポイントとして、「そこにI(愛)は、あるんか」がある。集会、職員会議でも話した。思い内にある

れば色外にあらわる。自分は何を、どのように、どこまでしたいのか。これからも、持ち続けたい。職業名索引によれば、今は、私は中学校校長である。



### 教え子たち

足羽中学校長 森上愛一郎



去年の七月、ある一人の男性が校長室にやってきました。彼は、三十

数年前、私が足羽中で野球部の顧問をしていた時の教え子でした。その頃の足羽は、生徒間暴力や対教師暴力、器物損壊、喫煙等々、荒れに荒れた時代でした。野球部を引き連れて練習試合に行っても、野球の試合は二の次で、相手校とケンカをするのが主目的というような状態でした。彼とも、中学校卒業以来会つたこともなかつたわけですが、突然私を訪ね、「先生が退職されると聞いて、東京から飛んできました。あの時の野球部のメンバーを集めて飲み会をします。」と話し出しました。突然の申し出に驚きましたが、四十六

歳になった彼らと再会できることはうれしく、喜んで了解しました。彼は東京で人気のある美容師として活躍しているらしく、多忙の中をわざわざやって来てくれたようです。その後、足羽や明倫で担任をした教え子や、光陽中野球部の教え子などからも誘いが相次ぎ、年末から現在に至るまで、教え子たちとの飲み会が続いています。

私にとって、教え子たちと時間を共有することは、とても幸せなことです。特に、中学校時代に荒れていた子が、今は立派な親となつて我が子を養育している姿は本当に素晴らしいです。目先ではなく、長い時間をかけて子どもたちが成長していく、それが教育の力なのだと思えます。

### 支えてくれた人々に感謝

粟中学校長 坂田 浩一



教師生活三十七年、色々な人との出会いがあった。若かったあの頃、授業も生徒との関係もうまくいかず悩んだ日々、諸先輩の先生からの言葉に支えられて、今日ここまで来られたと感謝の気持ちでいっぱいである。印象に残っている言葉がある。「教育への情熱がなくなつたら辞表を書きなさい。そのまま生徒の前に立つことは、



## 感謝

丸岡中学校長 畑山達哉



これまで何  
気なく過ごし  
てきた時間や  
出来事、出会い  
が一つ一つこ

れで最後なんだと感じつつ、三十八年間の教職人生を終わろうとしています。武生市味真野小学校から始まり、坂井地区の小中学校を中心に二十二年、県立高校が二年、行政が三年、管理職が八年と、教員になり始めた頃には全く想像できない教員生活でした。

特に、芦原中学校では十七年間もお世話になり、担任として、教科体育、野球部の指導にのめり込み、子どもと共に汗を流し、涙したことが私の教員としての原点でした。さらに先輩教員から沢山の教員としての不易を教わり、今日まで指針となりました。

時は過ぎ、最後に母校丸岡中学校の校長として勤務することができ、改めて母校に勤務する喜びと、責任の重さを感じながら、少しでも恩返しをと頑張ってきた。

あつという間の、三十八年間のいろいろありましたが、とても楽しい思い出ばかりです。ありがとうございました。



## 一色一生

春江中学校長 林 晃司



京都に志村  
ふくみさん  
という染織家  
いらつしや  
います。志村

さんがその染色人生を綴られたエッセーに「一色一生」というものがあります。

「二色一生」とは、たった一つの色を出すのには一生かかるという意味です。草木のいのちから本物の色を取り出して染め上げていく作業は、一年や二年では到底できない果てしない営みであるということなのです。

私の教員人生が間もなく終わりを告げようとしています。周囲の皆様方のおかげで、こうして無事に勤め終えることができます。とを大変嬉しく思っております。その一方で、自分の過去を振り返った時に、己のやってきたことは、果たしてどんな色を生み出したのか？自身で出せなかったのだろうか？自身で出せる答えは「無色」でしかありません。何ら色づけることなく、

何一つ味付けをすることなく終わりを迎えようとしていることに、情けなさを感じずにはいられませんが。

多くの子どもたちを含め、皆様方への感謝の念を忘れることなく、何かしらの色付けを追求していきたくと思っています。

## ありがとうございます

陽明中学校長 青木俊文



昭和五十七  
年に新採用さ  
れてから三十  
八年の教員生  
活が間もなく

終わろうとしています。この間、実に多くの生徒と出会い、生徒の成長を喜んだり手を焼いたりしながら、自分自身が多くのことを学び成長することができたように思います。

そして今、当時中学生だった生徒達が親世代となり、その子ども達が生徒となって本校に通ってきているのに時代を感じます。昔とは違う社会背景になりましたが、個性豊かな生徒達の健やかな成長を願うばかりです。

また、これまでの教師生活では、その時々には生きた自分だけのエピソードがあります。どの時期にあつても、先輩、後輩、研修や部活動で知り合った方々から多くのことを学ばせていただいたり、支えていただいたり、助けていただいたりしました。お陰で、少し

ずつ成長することができたように思います。皆様にお礼を申し上げます。

ありがとうございます。

## やる時はやる

上庄中学校長 勝矢和宏



この「やる時  
はやる」は、私  
が教師となつ  
て三十八年間、  
ずっと求め続

けてきた中学生像です。学級担任や学年主任をしていた時の目標も、ほとんどがこの「やる時はやる」でした。先日、この学校で二十年ほど前に担任をした教員が校長室にやって来て、掲示してあった「やる時はやるを見て」「先生、私達の担任の時と一緒にやな」と言われ、あの頃から教師として成長していかないのかもしれないなあ。「と話す」と、それはそれで、信念が変わらないということ、いいんじゃない。「と」言ってくれました。

中学生時代は人生の中で、最も多く新しいことに出会い、学ぶ時です。でも、全てのことに常に全力で立ち向かい、努力することは不可能です。たとえやろうとしても心や身体がパンクしてしまいます。そこで、やることに優先順位をつけ、メリハリのある生活をするのが「やる時はやる」につながると思います。

自分も「やる時はやる」を motto に、今後のセカンドライフを楽しみながら過ごしていきたいと思えます。

## ありがとうございますの教育

尚徳中学校長 脇本正信



私は、校長と  
して教職員と  
生徒とともに  
スーパープラ  
ス思考で「笑顔

あふれる学校」を目指しました。私の「笑顔あふれる学校」は、生徒が安全・安心に平等感をもって生活し、認める言葉、感謝する言葉、褒める言葉がシャワーのように降り注ぐ学校です。

「愛情と信頼」を職員室の合言葉にして、生徒を認め、「ありがとう」の言葉で自信を持たせ、自己有用感を高める「感謝して育てる教育」・「ありがとうの教育」を推進しました。おかげさまで、学校に集うみんなの理解を得て、毎日、たくさん笑顔と「ありがとう」を見聞きすることができ、本当に幸せです。

さて、人生百年時代。挑戦に失敗は無く、「学びと成功の連続」です。スーパープラス思考で、失敗に思えることを、次につなげる学びに変えることが肝要です。生徒が、「夢」×「情熱」×「能力」×「技術」の方程式で、ずっと、ずっと、「ドリームチャレンジ」として生き抜くことを願ってやみま

せん。  
最後になりましたが、教員に採用されて以来、日々の尊いご縁で人間として成長することができました。大変お世話になり、お力添えをいただいた皆様方に、心より感謝申し上げます。「本当にありがとうございます。」

### まずは「謝罪」、 そして「感謝」

中央中学校長 丸山繁喜



校内暴力で荒れた千葉県の中学校が教員のスタート

でした。四年後、鯖江中学校で十三年間主に生活担当や指導部長、二小中学校で教務主任を十年間、鯖江市教委指導主事二年間、惜陰小学校教頭三年間など務めてきましたが、指導主事の二年間は中学校が生徒指導上荒れました。教員人生の三十七年間を振り返りますと生徒指導や保護者との対応の繰り返しでありました。若き時代はすぐ力となつて熱くなりましたが、今、校長という最高責任者になると「謝罪」と「感謝」しかないと考えています。「本校の大事な生徒の一人です。その思いを受け止められずに申し訳ありません。」ご支援・ご理解いただきましてありがとうございます。」と学校側が頭を下げることで信頼関係を築いたり、困難なことも丸く収まっ

たりしたことが多かったように感じます。信念をもつての指導も大切ですが、「柔軟性」や「対応力」も大切です。退職をするにあたり今まで多くの方と出会い、皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びし、私を支えてくださったことに感謝申し上げます。

### 全てに感謝

今庄中学校長 山本祥司



新採用の中学校に九年間、各学年の担任を三回ずつ経験させていた

できました。若い年齢層が多く熱気に満ち溢れ、先輩の先生方から授業や学級経営、校務分掌等に関して沢山のことを教えていただき、現在の自分の基礎を築くことができましたと感謝しています。その後、母校の中学校の十一年間の勤務では、学年主任や教務主任担当が多く、担任とは異なる目線で見るという経験をさせていただきました。忙しくも充実した日々が懐かしく思い出されます。現在は再び母校の中学校で勤務しています。初任の学校で先輩から、「十年後の自分の姿を想像せよ」「自分以外の三方向の立場に目を向けよ。」と教えられました。日々自分のことで精一杯でしたが、常に頭にあつた言葉です。中堅になつてからは学校外に目を向けることも多くなりました。今は、来年

の自分を想像しています。「あつ」という間でしたが、縁あつて出会えた先生方や子ども達、多くの方々に支えられての教員生活でした。全てに感謝あるのみです。

### 思い起こせば

河野中学校長 野村哲夫



教員生活の最後を河野で迎える。海と山に囲まれた自然豊かな地で

ある。

かつて、五年間、隣の河野小学校に通った。赴任早々、朝の会の最中に、校長の校内放送が入った。敦賀湾にイルカの群れが泳いでいるとのこと。子どもたちと、急いでペランダに出てそれを眺めた。風が爽やかだった。授業に飽きた昼下がりが、全員にハサミを持たせて、岩ノリ採りに出かけた。風が冷たかった。担任を外れて、学校菜園の主となった。日本海に包まれるようにして、サツマイモや力ボチャなどの世話をした。風が穏やかだった。夕方には太陽が溶けるように日本海に沈み、漁り火が遠くに並ぶ。疲れや悩みが和らいだ。風が温かかった。概して幸福な時間を過ごし、私は太った。  
十五年ぶりの河野勤務。相変わらず、子どもたちは素直だが内弁慶で、その時々風の風が吹く。思い起こせば、なんといい加減

な教員だったことか。ここまで来られたのは、あらゆる方々のおかげだとつくづく思う。ただただ感謝である。

### 「出会い」に感謝

気比中学校長 河原英明



振り返ればあつという間の教員生活。二十代は担任、三十代は生徒指導主事、四十代は学年主任・教務主任、五十代は管理職と、それぞれの年代に思い入れがあります。新採用は松陵中学校。剣道に明け暮れた毎日でした。朝練習から始まり、休日は県外などへの遠征で、休みもなく打ち込んだ日々。それを支えてくれたのは、理解ある保護者でした。(もちろん、家族もですが...) 次に異動した気比中学校。ここでは、PTA役員の方々からPTA活動を通じて、たくさんのお話を学びました。

校長に昇任したとき、多くの方々からお祝いをしてもらいました。剣道指導を通じて出会った教え子とその保護者。PTA活動で知り合った役員の方々。改めて「出会い」の素晴らしさを実感したときでした。  
私たちが若い教員のときは、先輩教員や保護者から育ててもらうことができませんでした。たくさん失敗しましたが、温かく見守ってくれる人がいました。しかし、今は

即戦力となる人材が求められています。だからこそ、これからは少しでも教育に対して恩返しができるばと思っています。ありがとうございました。



### 教師冥利

松陵中学校長 岩崎一男



「教師冥利」という言葉があるが、まさにこの言葉に尽きる教師人生であった。

教師でしか味わうことのできない感動体験。子どもの成長を間近で感じながら、自身の成長に気づく。教師だからこそ味わうことのできる、苦勞の先にある幸福。知らず知らずのうちに受けてきた恩恵に気づく。  
三十八年間という教師人生が、間もなく幕を閉じようとしている。敦賀市内の中学校全てに赴任し、多くの子どもたちや保護者との出会いがあつた。また、揺れ動く子どもたちと向き合い苦樂を共にしてきた同僚との時間。全てにおいてただただ感謝の気持ちでいっぱいである。

知らず知らずのうちに受けている恩恵。その教師ならではの特別感が、知らず知らずのうちに、自身の信念を強固にし、価値観や使命感を高めていった。

今年八月に教え子の同窓会が二回あった。久々に会う子どもたちの変化に驚き、その成長ぶりに頼もしさを感じた。ひとときの再会は、まさに教師冥利に尽きる至福の時間であった。

「教師冥利」。いい響きである。

## 全ての人の

### 「出愛い」に感謝

粟野中学校長 奥田 静巨



クローバー (シロツメクサ) の話です。「見つけた人は幸せになれる」と

と言われている四つ葉のクローバーを探した人は多いのではないのでしょうか。四つ葉のクローバーの花言葉は「幸運」であり、四枚の葉に「誠実・希望・愛・幸運」といったキーワードが託されているそうです。では、そのまわりに茂っている三つ葉のクローバーの花言葉を知っていますか。なんと：「幸せ」なんです。自分のまわりにたくさんある「幸せ」を踏みつけていき、ちよつとしかない「幸運」を求めていた自分がいたのではないのでしょうか。たぐさんの「幸せ」で満たされているというのに、それに気づかずに生き

てきたのではないのでしょうか。私はずいぶんはそうでした……。

今まで出会った方々に育てられ支えていただき、今こうして幸せだった教員生活が終わろうとしていきます。私は、「出愛いは偶然ではなく必然である。」と思っております。今まで出会った全ての人の「出愛い」に心から感謝です。ありがとうございます。

### 愛着と誇りを胸に

小浜中学校長 山田 康弘



新採用で赴任したのは、敦賀北小学校で三十年余り、月

並みな言葉で言えば、過ぎてしまえばあつという間の時間でした。採用から四年間の敦賀北小学校では、若さに任せ、乱暴な言い方をすれば好き放題にやっていました。最初にもらった給料袋を手にした時、こんな事でお金をもらっているのかと戸惑ったことを覚えています。また、真に天職だと勘違いしたこともありました。

しかし、それから転任した小浜中学校では、生徒指導の問題等で悪戦苦闘する日々が続きました。正直、辞めたいと思うことも何度もありました。

そんな小浜中学校を最後の職場として退職の時を迎えることになりました。悪戦苦闘した時期

の生徒達が、今は親となって学校を支えてくれています。生徒達もとても落ち着いて、学習に生徒会活動にそして部活動に取り組みんでいます。母校に愛着と誇りを持つてる生徒の育成を目指してきましたが、私自身この小浜中学校への愛着と誇りを胸に抱き、退職の時を迎えられることに感謝の気持ちでいっぱいです。

### 出会いに感謝

小浜第二中学校長 西川 芳夫



校内暴力が吹き荒れる当時、嶺北の中学校に新採用で赴任し、突っ張

る生徒たちと向き合い、毎日が真剣勝負そのものでした。ある時、学級経営がうまくいかないことをぼやいていた私は、先輩教員からハツとする言葉を頂きました。「『その子さえないなかったら』から『その子がいるおかげで』に変わったとき、教育ははじまる。」この言葉は、教員生活を送る上での私の原点となりました。

私は、小浜生まれですが、小浜市以外での勤務が十五年。その内八年は嶺北勤務でした。数え切れないほどの多くの人々との貴重な出会いと別れがありました。

ふりかえると、力のない私は、いつも力のある人々と出会い、支えていただきました。「校長は強いリーダーシップを」といわれま

すが、校長には強いリーダーシップが必要ありません。教員がそれぞれの持ち場で強いリーダーシップが発揮できれば、学校は大きく発展するのです。そのことを三校の校長をして確信しました。

話を変わるが、私は教員になって一度も異動や校内人事に意見を述べたことがない。担任する学級も残ったところで結構と言ってきた。なぜなら、私のことを周囲はどう評価し、どう活かそうと考えているのかに非常に興味を持って生きてきたからである。主観に流されることなく第三者の目を借り、俯瞰することの重要性を認識しているつもりである。そういった視点で教員生活を振り返ると、多くの方々の評価が今の自分をつくり定年退職という慶事に至らしめてくれたと解している。今後も漂うことなく抗うことなく流れに掉さして生きていきたい。

### 流れに棹さして

上中学校長 竹内 久典

人より秀でた知力や技能を持ち合わせていない私だが、中学を卒業するころには教師になりたいという夢が膨らみ教職を志した。幸い大量採用の時代の波に乗り、運よく採用された時の喜びは四十年近くたった今でも鮮明に思い出される。

若い頃は眼前の生徒のことだけを考え悪戦苦闘する日々であったが、後年は教職員に対して指導や助言をしたり、人事や給与



が、中学を卒業するころには教師になりたいという夢が膨らみ教職を志した。幸い大量採用の時代の波に乗り、運よく採用された時の喜びは四十年近くたった今でも鮮明に思い出される。

### 過去から現在、そして未来へ

内浦中学校長 大野 伸也



私の趣味は写真です。完全マニュアル機から始まり、現在のデジタル

カメラまで四十年近く写真を撮り続けています。最近では、スマートフォンでの撮影が向上し、誰でも簡単に綺麗な写真が撮られるようになり、かつて苦労して

撮った写真も指一本で簡単に撮れます。反面、写真と撮る楽しみは少なくなつた気がします。写真の基本は、「シャッタースピードと絞り」です。何気なく撮っている裏では、常にそれらを決定する仕組みが働いていることを知っている者は、手を加えられる部分があれば、工夫を加えます。試行錯誤を繰り返して、ものが発展・進化してきた過程を知っているから、工夫して変えようとすることができるのではないかと思いません。教育の現場にも同じことが言えるのではないのでしょうか。過去があり、現在があり、そして、未来があります。現在だけを見ていても未来は創造できないのではないかと思われまます。今ある制度も変えることができるかと信じて、よりよい現場にしていっていただきたいと願っています。

### 光陰矢の如し、

感謝いたします

大飯中学校長 河原勝視



昭和五十七年四月、敦賀市の小学校に赴任して教員生活が始まりました。

した。校長の前で宣誓書を読み上げた後、校長から「教師に必要なものは何か。」と問われ、勢いで「愛情と情熱です。」と答えた。そして、「音楽と体育と道徳の授業を見れば、学級の実態がわかる。

しつかりやりなさい。」と言われた。また、教頭からは「河原君は、これから先長いんだから、八時間睡眠、八時間仕事、八時間自分のことを、楽しみなさい。」と言われた。四年間、校長からは、厳しく指導してもらい、教頭からは、あちこちに連れ出され、多くのことを学ばせてもらった。

昭和、平成、令和と時代が移り、暴力行為・器物破損の生活指導の困難からいじめ・不登校・児童虐待……。手書きからワープロ、パソコン、AI……。電話から携帯、スマホ……。世の中・社会、学校現場が大きく変化した。しかし、教師が大切にしていくなすべきことは変わらない。

あの時の「しつかりやりなさい。」「楽しみなさい。」という恩師の言葉は、今も変わらず生きています。教員生活三十八年。光陰矢の如し、感謝いたします。



## 県中学校教育研究会だより

県中教研会長  
柴田 顕光  
(進明中)

本研究会は、昭和四十二年に会則が作られその活動は半世紀を越えました。各ブロック、各教科等の研究部会を地域毎にも設け、自主的・創造的な実践研究を推進して、生徒に生きる力やふるさと福井への誇りと愛着を育み、これからの時代に必要となる資質・能力の育成を目指しています。六月に全ブロックの研究集会を参観した際、中高連携、公開授業や模擬授業をはじめブロック毎に工夫が見られ、改めて福井の教育風土の素晴らしさを感じました。

年間の学びのあり方等々、新学習指導要領の全面実施に向けて、具体的で意義深い研究会となりました。

来年度の奥越ブロック大会からは、発表数を減らし研修を含め新たな部会運営を行ってまいります。課題多き時代だからこそ組織やその運営、連携のあり方等を一層工夫し、活動の充実、発展を図る必要があります。教育実践を積み重ね、先生方の指導力向上と本県中学校教育の質的向上につなげ、夢と希望、ふくい愛を育む教育の推進にご協力をお願いする次第です。

## 県中学校体育連盟だより

県中体連会長  
土橋 雅実  
(鷹巣中)

昨年度は、「福井しあわせ元気国体・大会」がここ福井の地で開催され、国際大会で活躍する多くのトップアスリートが集結し、熱戦を繰り広げました。そんな中、「チームふくい」の選手の大活躍。そして、天皇杯・皇后杯獲得は県民に多くの感動を与えてくれました。ジュニアアスリート事業の中で、国体に向けて中学期から取り組んできた成果が実を結んだものとうれしく思います。今年の茨城国体で

も福井国体のレガシーとして選手強化が引き続き行われ、総合成績十位という素晴らしい結果を残しました。さて、県の中学生連では来年度、福井県で開催される北信越中学校総合競技大会の準備に追われているところですが、また、令和六年度には全国中学校体育大会が北信越ブロックで開催されることが決定しており、そちらも視野に入れながら活動を進めてまいります。現在、県中体連の大きな課題として、運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインを踏まえての部活動の強化の在り方や生徒数・学校数減少に伴う大会の持ち方、さらには、大会の財源確保・指導者不足、猛暑の中での大会運営の在り方等、課題は山積しております。しかし、部活動を通して得られる、目標達成に向けた粘り強く最後まで挑戦しつづける姿や礼儀・マナー、公正な態度や規律を尊ぶ姿は自己の成長を促すと共に、予測が困難なこれからの時代をたくましく生きていくためには必要不可欠な力であると考えています。これからの部活動は学校だけでなく、垣根を越えてジュニアとの連携や競技団体、地域との連携をさらに強めながらも「強くなる」という目標と共に、本来の部活動の目的である「人づくり」を大切にして欲しいと願っております。